

令和6年度 日本大学危機管理学部 個人研究費 研究実績報告書

所属：危機管理学部 危機管理学科

資格：教授

氏名：西田 亮介

<p>研究課題名</p>	<p>情報化社会の政治、行政、メディアの分析と課題解決、社会実装に向けて</p>
<p>研究目的及び 研究概要</p>	<p>AIやSNSが中心となった情報化社会における政治、行政、メディア等、そしてそれらの境界領域における現状の分析と課題解決、社会実装等を行う。具体的な対象としては、政党の情報化、（国と地方それぞれの）行政情報化、マスメディアのデジタル化などを挙げることができる。 具体的な現象としては、偽情報と偽情報対策、災害時のメディアインフラ（「トラストなニュース基盤」）、日本の放送事業者と新聞社のデジタル化とそのボトルネックなどを挙げることができる。 こうした問題について、公開情報の収集、分析、インサイトの抽出と論文や書籍の執筆、学会報告等のかたちで研究を行う。それらに必要なコストは公開情報の収集においてすら、本研究費の金額ではまったく十分ではないが、さしあたり学会年会費や学会報告や参加費、基礎的な文献の購入を中心に最低限の研究環境整備に充当する。その他の研究費を組み合わせることで、上述の研究を遂行する。</p>
<p>研究実績の概要</p> <p>研究の進捗状況・得られた成果・今後の課題・研究実績等</p>	<p>転職してきて気がついたことだが、一般的な研究費執行環境、体制が整備、構築されておらず、当該研究費は一切執行できておらず、したがって当該研究は一切進捗していないため当該研究費に関連した実績は存在しない。また環境が改善されない限り、今後も進展の見込みはない。</p>